

事務事業名		農業振興事業補助金交付事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興				
	基本事業名	01 農業経営の安定化			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		予算科目 会計 01 款 06 項 01 目 03 事業 08				
所属	部課名	農林水産部 農林課			総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	
	係名	農政係	電話	0192-27-3111		
			内線	7122		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市内農業経営者等に対し、農業技術、経営技術の指導及び畜産に関する指導等を行い、地域の実情に応じた営農形態に導くことにより、市農業の振興を図ることを目的とする事業で、営農指導の実施主体である大船渡市農協営農指導センター及び家畜の衛生管理指導を行う東南部農業共済組合に対し、補助金を交付する事業。 ・市農協営農指導センターでは、専任の営農指導員を配置し、菌床しいたけ、ピーマン、タマネギ、水稻等の農業技術及び経営技術等の指導を行い、地域特性を生かした作目の産地化と栽培農家の経営安定を図っている。また、東南部農業共済組合では、獣医による営農指導及び家畜の衛生管理にかかる指導を行い、畜産経営の合理化と経営安定を図っている。 ・市は、営農指導を行う大船渡市農協(市農協内に営農指導センターがある)及び家畜の衛生管理指導を行う東南部農業共済組合に対し、事業費の一部を補助金として拠出している。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・営農指導を行う大船渡市農協(市農協内に営農指導センターがある)に対し、事業費の一部を補助金として2,700千円を拠出した。また、家畜の衛生管理指導を行う東南部農業共済組合に対し、補助金300千円を拠出した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度と同様	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 営農指導回数 回 イ ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・(直接の対象)大船渡市農業協同組合、東南部農業共済組合 ・(間接の対象)市内の農家	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 事業実施主体数 法人 キ 市内の農家数 戸 ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・補助金を交付し、営農指導を行う市農協の指導体制を整える。 ・営農指導により、水田農家、畜産農家などの技術力や経営能力を高め、生産向上に結び付ける。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 営農指導に参加した水田農家戸数(延べ) 戸 シ 営農指導に参加した畜産農家戸数(延べ) 戸 ス 営農指導に参加したピーマン農家戸数(延べ) 戸
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・安定して農業を営む。	

(2) 総事業費・指標等の推移								
投入量	年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
	単位							
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
	事業費計(A)	千円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	
	人件費計(B)	千円	80	80	80	80	80	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	
⑤活動指標	ア	回	23	25	30	40	50	60
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	法人	2	2	2	2	2	
	キ	戸	1350	1350	1350	1350	1350	
	ク							
⑦成果指標	サ	戸	98	100	100	110	110	
	シ	戸	115	120	120	130	130	
	ス	戸	55	60	60	70	70	

事務事業ID	487	事務事業名	農業振興事業補助金交付事業
--------	-----	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度から、大船渡市・大船渡市農協・大船渡農業改良普及センターを構成団体とする「大船渡市営農指導センター」を設立し、農業、畜産、花卉等の総合的な営農指導を図ることになり、これまでの補助事業等を見直し、直接的な営農指導の役割を担う市農協に対し補助を行うこととなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・大船渡市営農指導センターを中心に、農業技術や営農指導、特産品の開発等に関する情報を共有し、積極的に施策に反映させながら、農業の振興が図られるとともに、市農協による現場での営農指導が活発に行われているが、他の産地との競合もあることから、特色ある産地化を図るため、更なる営農指導の充実が必要な状況にある。 ・平成20年度から市農協に獣医が不在となったことで、家畜の衛生管理指導に関する業務については、獣医を有する東南部農業共済組合に行ってもらった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・営農指導を円滑に行うため、市農協から、事業の継続を求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ ・営農指導による安定した地域特産品の生産及び供給は、農業経営の安定化につながり、その結果、農林業の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・市が設置する「大船渡市営農指導センター」は、営農指導機能を備えていないことから、農家への具体的な営農指導は農協が担っているところであり、営農指導を行うための補助金を拠出することは、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・対象となる農家の範囲を拡大することは可能であり、それにより、新たな特産品の開発も展望できる。今後、「大船渡市営農指導センター」において協議する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・事業の継続により、営農指導が浸透し、対象農家を増やすことができる余地があり、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・営農指導に支障をきたし、農業経営の安定化を阻害する。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ・他の事業で、類似事業が無いため、統廃合できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・現時点で、相応の補助金を支出しており、補助金の削減は営農指導に支障をきたす。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・補助金交付に係る事務のみで、業務所要時間は適切であり、削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・直接の受益者となる市農協は、総事業費の大部分を負担しており、適正な負担配分と考えられる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">① 目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 適切</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導の浸透により、事業成果の向上を図る。 ・事業の維持を通じ、更なる農業振興を図る。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・事業の継続により、成果の維持、向上を図りたい。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>・営農指導にかかる対象農家の範囲拡大は、新たな特産品の開発等、様々な波及効果の可能性につながることから、今後、市営農指導センターにおいて範囲拡大の協議が必要。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者	農林課長	
-------	------	--

4 事務事業の2次評価結果

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) 		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>・東日本大震災により農地等が被災し、現在、復旧・復興事業が進められており、一概に成果の向上は期待できない。</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">① 目的妥当性</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:10%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>長期的視点での成果の向上を図るため、現状どおり継続して事業を実施する。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項